

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
楽器演奏法基礎	3	3		

到達目標

音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 演奏における客観性と多様性について理解を深めると共に、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。

評価の観点	評価の内容
a 音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
b 音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
c 音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。
d 鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

評価の方法

実技テスト（各中間・期末）、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画

前期					後期								
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	1	オリエンテーション	○				10	2	Stage Management Meeting ～最終発表会について考えよう～	○			
	11	Prologue 1 ～まずは、みんなでやってみよう！～	○	○				11	Stage 4 ～最終発表会に向けて、研究を深めよう～		○		
5	11	Prologue 2 ～課題を決めて、グループ演奏にチャレンジ！～	○		○		11	2	Performance Challenge IV ～中間発表会③～	○		○	○
	1	Performance Challenge I ～最初の成果を発表しよう～	○		○			15	Stage 5 ～最終発表会に向けたリハーサル～			○	
6	12	Stage 1 ～個人の演奏技能を高めよう～			○	○	1	3	最終発表会	○	○	○	○
7	11	Stage 2 ～思いや意図を持って演奏で表現しよう～		○	○								
	1	Performance Challenge II ～中間発表会①～		○	○								
8	12	Stage 3 ～中間発表会をもとに、ブラッシュアップ！～			○	○							
9	10	Performance Challenge III ～中間発表会②～		○	○	○							
	2												
							計	105					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・教科書、楽譜、楽器などの忘れ物は必ず授業開始前に申し出てください。
- ・毎回の授業で学校の楽器を使用します。練習時とセッティング・片付けの際には、充分注意して大切に扱ってください。

学習方法

- ・楽譜、ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイルを用意してください。
- ・各自の課題に応じて、グループや個人での練習や、意見交流をしながら進める活動、個人で思考を深める活動を行います。